

The Journal of Veterinary Medical Science 投稿規程

(平成 29 年 7 月 18 日改定)

(令和 2 年 9 月 18 日改定)

(令和 3 年 5 月 27 日改定)

(令和 4 年 3 月 15 日改定)

(令和 4 年 5 月 24 日改定)

(令和 4 年 11 月 1 日改定)

1. 目的

The Journal of Veterinary Medical Science (JVMS) は査読付きのオープンアクセスジャーナルで、基礎から応用および臨床研究まで、獣医学に関するさまざまな論文を扱う。

JVMS は公益社団法人日本獣医学会による公式ジャーナルであり、年間 12 号で構成される。査読対象分野は、解剖学、生理学、生化学、薬理学、動物行動学、野生動物科学、病理学、毒性学、実験動物学、寄生虫病学、細菌学、ウイルス学、公衆衛生学、免疫学、疫学、家禽疾病学、内科学、臨床病理学、外科学、臨床繁殖学である。

2. 論文の種類

投稿論文は獣医学領域に関する未発表かつ他で公表予定のない英文の Full paper (原著; 8 頁以内、1 頁は表題・図・表などを含まない場合は約 850 語)、Note (短報; 5 頁以内) および Review article (総説; 8 頁以内) とする。全ての投稿論文は編集委員および複数の査読員が審査し、編集委員長もしくは副編集委員長が採否を決定する。

3. 倫理方針

論文を投稿する前に、著者は以下の倫理方針に目を通し、これに従わなければならない。編集委員および編集事務局が倫理方針を遵守していないと判断した場合には、査読せずに却下することがある。同様に、論文が受理された後、あるいは掲載済みであっても、却下や削除することがある。

3-1. 二重投稿

JVMS への投稿は、当該論文が（一部であっても、いかなる言語でも）未発表で、印刷中でもなく、他のジャーナルへの掲載を検討中でもない場合にのみ行われるべきである。但し、研究報告書および研究機関のレポジトリに登録された学位論文についてはこの限りではない。

関連原稿が他のジャーナル等への投稿を検討中、印刷中、掲載済みである場合に、著者は編集委員長にその旨を知らせなければならない。但し、公的にアクセス可能なプレプリントサーバーで論文が利用できる状態になっていることは、事前掲載に当たらない（「3-3. プレプリント」参照）。

JVMS への掲載可否が最終的に決定する前に、著者が他のジャーナル等に論文を投稿することを選択する場合は、先に JVMS への投稿を取り下げなければならない。

3-2. オリジナリティ

JVMS への投稿は、論文がオリジナルな著作物であることを意味する。JVMS では論文にオリジナルではない内容が含まれていないかを、ソフトウェアを使ってスクリーニングする。JVMS への投稿をもって、著者はこのスクリーニングに同意したこととする。論文に容認できないレベルでオリジナル性の欠けた内容が含まれている場合は、編集委員の判断で却下する。

3-3. プレプリント

研究を広く知らせるために、JVMS への投稿前または投稿と同時に、著者が研究論文を研究コミュニティ公認のプレプリントサーバーに登録することを許可する。これは、一次研究について記述したオリジナル版の論文にのみ適用される。査読者のコメントに対応して修正された論文、受理され掲載が決定した論文、JVMS に掲載された論文は、プレプリントサーバーに登録することはできない。但し、掲載済み論文への送信リンクをプレプリントサーバーに登録することは妨げない。

3-4. オーサーシップ

JVMS への投稿は、著者全員が著者リストを含め論文の最終稿を確認し承認したことを意味する。著者名の追加や削除、あるいは著者の順番を並べ替えるなど、論文投稿後に著者リストを変更することは基本的に認めない。

3-5. 画像の同一性

著者が画像をデジタル的に操作したり加工したりする場合には、修正は最小限にとどめ、加工は画像全体に施し、研究コミュニティの基準を満たす範囲内にしなければならない。また、大きな修正である場合は、論文にその旨を明記しなければならない。論文に含まれる画像は全て、オリジナルデータを正確に反映していなければならない。著者は画像の個別部分を移動、削除、追加、強調してはならない。編集委員は、著者にオリジナルの未加工画像の提出を求める権利を有する。提出依頼のあった画像を提供できない場合は、論文が却下されることがある。

3-6. 著作権のある資料の転載

著者自身に著作権がない資料が論文に含まれている場合、著者は著作権者から転載の許可を得なければならない。

論文として公表済みの資料が含まれている場合、著者は原著の著作権者と出版者から転載の許可を得なければならない。また、著者は論文中で原著に言及しなければならない。

転載許可の写しは、論文を最初に投稿する際に添付しなければならない。

3-7. データおよび資料の入手可能性

著者は必要に応じて受入番号や会社の詳細情報を論文に記載して、公開リポジトリや民間メーカーなど、公的に入手可能なデータや資料の出所を明示しなければならない。

著者自身のデータや資料は補足資料で開示したり、該当する研究コミュニティ公認の公開データベースやデジタルリポジトリへ論文からリンクすることもできる。これらのデータは査読過程において編集委員や査読者が利用できなければならない。

3-8. 動物実験／ヒト由来の試料を対象とした実験

動物や動物由来の試料を対象とした実験について記述している論文の著者は、著者の所属機関が定めるガイドラインに従って研究が行われたことや所属機関に設置された動物実験委員会等が承認したことを明示しなければならない。その場合には、編集委員会が経緯を問い合わせる可能性もあるため、承認番号を記載することが望ましい。動物の取り扱いや動物実験方法に倫理上の問題があると編集委員会が判断した論文は却下されることがある。

ヒトやヒト由来の試料を対象とした実験（アンケート調査も含む）について記述している論文の著者は、ヘルシンキ宣言やその改訂版、著者の所属機関が定めるガイドラインに盛り込まれている原則に従って作業が行われたことを明示しなければならない。また著者は必要に応じて、研究への参加と研究成果の公開について被験者からインフォームドコンセントを取得した方法を論文に記載しなければならない。これらの点に関して問題があると編集委員会が判断した論文は却下されることがある。

3-9. 遺伝子組換え生物を使用した実験

遺伝子組換え生物を使用した実験について記述している論文の著者は、生物の多様性に関する条約のバイオセーフティに関するカルタヘナ議定書や著者の所属機関が定めるガイドラインに従って研究が行われたことを明示しなければならない。その場合には、編集委員会が経緯を問い合わせる可能

性もあるため、承認番号を記載することが望ましい。但し、カルタヘナ議定書非締約国の論文についてはこれを免除することがある。

3-10. 統計学的解析

統計学的な解析が必要となる実験について記述している論文の著者は、適切な統計手法を採択し、その方法を明示しなければならない。統計手法について問題があると編集委員が判断した論文は却下されることがある。

3-11. 利益相反

透明性を確保するために、全ての投稿論文について、投稿時に利益相反の申告を求める。利益相反が存在すると判断されるのは、著者が研究の実施や報告を公平に行うことに影響を及ぼしかねない状況が実際にあるか、その疑いがある、またはその可能性がある場合である。潜在的な相反には商業的または経済的利益の競合、営利目的の提携、コンサルタントとしての役割、株式や資本の所有などがある（但し、これに限定されるものではない）。無申告で論文に利益相反が疑われる内容が含まれている場合は、編集委員の判断により論文が却下されることがある。利益相反に関しては、その有無にかかわらず論文中に記載しなければならない。

なお、論文の謝辞のセクションには、研究の資金源を記載しなければならない。

4. オープンアクセス

JVMS は科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）を利用したオープンアクセスジャーナルである。79 巻 1 号（2017 年 1 月発行）からは、J-STAGE および PubMed Central（PMC）での電子公開（総ページカラー）のみとする。

5. 論文掲載料（新規掲載料は、2021 年 1 月 1 日以降の投稿論文より適用）

JVMS の出版には、編集やオンラインホスティングなどを管理する費用等がかかるため、著者（またはその代理人）に論文掲載料の支払いを求める。

責任著者が日本獣医学会会員である場合、掲載料は 1 編につき原著、総説 16,000 円、短報 12,000 円とする。責任著者が非会員である場合、原著・総説・短報を問わず 1 編につき 32,000 円とする。掲載料は論文採択後、学会の請求により必要に応じて下記の著者負担金とともに指定の口座（日本獣医学雑誌編集委員会郵便振替 00110-0-256160）に振込むこととする。但し編集委員会が依頼した総説については掲載料を無料とする。

【オプションの著者負担金】

- (1) 編集委員会で必要と認めた場合の英文校閲料
- (2) 超過頁料（超過分 1 頁につき 15,000 円）

6. 出版ライセンス

JVMS に掲載された論文の著作権は、日本獣医学会に属するが、著者は出版ライセンスに署名して、日本獣医学会に対して著作物をクリエイティブ・コモンズ・ライセンスでジャーナルに複製する許可（CC BY-NC-ND（表示-非営利-改変禁止）4.0 国際）を供与することが求められる。

7. 論文の準備

7-1. 構成と書式

【構成】

原稿第1頁の最上欄には希望審査分野（解剖学，生理学，生化学，薬理学，動物行動学，野生動物科学，病理学，毒性学，実験動物学，寄生虫病学，細菌学，ウイルス学，公衆衛生学，免疫学，疫学，家禽疾病学，内科学，臨床病理学，外科学，臨床繁殖学）を明記する．ついで原著・総説・短報の別，表題・著者名・所属機関（研究の実施場所）およびその所在地（郵便番号と所在都市，国名），連絡を担当する責任著者名・E-mail アドレスを記載する．さらに論文内容を端的に表現する running head（40 字以内，全て大文字）を記入する．

第2頁には ABSTRACT（原著および総説 240 語以内，短報 120 語以内）と KEY WORD（原著，総説，短報とも 5 語以内 ABC 順）を記載する．

第3頁以降の記述の順序は原著および総説では，INTRODUCTION，MATERIALS AND METHODS，RESULTS，DISCUSSION，CONFLICT OF INTEREST，ACKNOWLEDGMENTS，REFERENCES，FIGURE LEGENDS の項目順とする．短報では，CONFLICT OF INTEREST，ACKNOWLEDGMENTS，REFERENCES，FIGURE LEGENDS を除いて，このように項目分けをしない．

【書式】

- 本文では A4 判用紙にダブルスペースでタイプ（1 頁，24～26 行，1 行 70 字程度）し，上下左右に十分な余白（2.5 cm 程度）をとる．
- 本文には頁番号をつけ，左マージンに連続した行番号（通し番号）を入れる．
- 固有名詞は最初の文字を除いて小文字とし，動植物・微生物の学名などは，イタリックで表記する．
- タイトルでは略語は使用しない．略語を使用するときは，ABSTRACT および本文中にはじめて使用するとき完全に語を掲げ，そのあとに略語をカッコで括って提示する．
- 数字は算用数字を用い，単位および略語は原則として以下の例に従う．
M, mM, μM, %, m, cm, mm, μm, nm, pm, cm², L, mL, μL, kg, g, mg, μg, ng, pg, hr, min, sec, msec, rpm, Hz, Bq, mBq, μBq, kBq, cpm, dpm, ppm, °C, J, KJ, lux.
- 供給業者については，初出において次の情報を記載する．説明（製品名；企業名，所在都市，国名），製品名（企業名，所在都市，国名）．米国企業の場合は，所在都市の後に州名の略称も入れる．
- 引用文献リストは著者，共著者のアルファベット順に配列して番号をつける．同一筆頭著者の文献を複数引用するときは，著者 1 名だけのものを最初に，共著者 1 名のものを次に，共著者 2 名以上のものを最後にする．本文中では，[1]，[3-5，7] のように引用する．誌名省略は原則として次による．

ISO 4-1972 (E): Documentation International Code for the Abbreviation of Titles of Periodicals, and
ISO 833-1974 (E): Documentation International List of Periodical Title Word Abbreviation.

- 文献の記載方法は下記の例に従う．
 - Beiser JA, Gustin KM, Pearce MB, Maines TR, Zeng H, Pappas C, Sun XS, Camey PJ, Villanueva JM, Stevens J, Katz JM, Tumpey TM. 2013. Pathogenesis and transmission of avian influenza A (H7N9) virus in ferrets and mice. *Nature* **501**: 556–559.
 - Hori M, Yazama F, Matsuura Y, Yoshimoto R, Kaneda T, Yasumoto T, Ozaki H, Karaki H. 2018. Inhibition of actin polymerization by marine toxin pectenotoxin-2. *J Vet Med Sci* **80**: 225–234.
 - Sasaki H, Sasaki N, Nishino T, Nagasaki K, Kitamura H, Torigoe D, Agui T. 2014. Quantitative trait loci for resistance to the congenital nephropathy in tensin 2-deficient mice. *PLoS One* **9**: e99602.
 - Hamm LL, Alpern RJ, Preisig PA. 2013. Cellular mechanisms of renal tubular acidification. pp. 1917–1978. In: Seidin and Giebisch's *The Kidney*, 5th ed. (Alpern RJ, Caplan MJ, Moe OW eds.), Elsevier, Amsterdam.
 - Wild DG. 2013. *The Immunoassay Handbook*, 4th ed., Elsevier Science & Technology, Oxford.

- Japan Pet Food Association (JPFA). 2013. Research for the number of household dog and cats in Japan. <http://www.petfood.or.jp/data/chart2013/index.html> [accessed on May 31, 2019].

7-2. 英語の水準

米国英語を使用すること。著者の母語が英語ではない場合は、提出前に英語のネイティブスピーカーか校正サービスに原稿をチェックしてもらうことを推奨する。査読の過程で原稿を大幅に修正した場合については再度原稿をチェックしてもらうべきである。

8. 論文の投稿

論文は全て、オンライン投稿システム (ScholarOne Manuscripts™, 以下 S1M) :

<https://mc.manuscriptcentral.com/jvms> を通じて投稿しなければならない。

論文は、以下に述べるファイルに分けてアップロードされたものから、S1Mによって自動的に1つのpdfファイルが生成される。論文の審査にはこのpdfファイルが使用されるので、pdfファイル内の文字化け、画像の鮮明度等を投稿前に確認する。

投稿の際には以下のファイルを用意する。

- 論文本体 (表紙から参考文献や図の説明までの全てのテキストを含んだファイル) : Wordの文書が望ましい。11ポイントの標準的な英文フォント (Times New Roman や Century が望ましい, Helvetica, Arial, Symbol は不可) を使用する。
- 図 : カラーを推奨するが、読者のアクセシビリティに配慮した色や模様を選択すること。PowerPoint, Word, Excel, Photoshop (PSD, JPEG, TIFF), 等のオリジナルファイルを提出する (SHS, EXE, COM, VBS, ZIP は不可)。図の解像度として、白黒は 1200dpi, グレースケールとカラーは 600dpi, 写真 (テキストの書き込みなし) は 300dpi を必要とする。

PMCの画像ガイドラインおよびアクセシビリティについては下記を参照のこと。

Image Quality Specifications <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/pub/filespec-images/>

Wendover, K. 2019. The arts: creating scientific figures with color in mind. *The NICHD Connection* 10: 1-4.

Swan, N. 2019. How to make scientific figures colorblind accessible. *The NICHD Connection* 10: 5-7.

<https://science.nichd.nih.gov/confluence/display/newsletter/2019/11/05/>

- 表 : 縦罫を使用せず、各語句の始めは原則として大文字とする。Excelでの作成を推奨する。PowerPointファイルは不可とする。内容を端的に示す表題をつけること。
- 図と表は単独でも内容が理解できるように、略語は初出で定義すること。
- サプリメントを電子付録として公開することができる。
- S1Mで自動的に作成されたPDFは審査に使用されるため、投稿の最終ステップでPDFを確認する際に、ファイルサイズが5MB以下になるよう、図の解像度を検討すること。解像度の高いファイルは受理後に別途提出することとする。

ファイルにはそれぞれ以下のように名前をつけ、図と表の番号を名前の中に入れること。

論文本体 : AuthorName.doc(x)

図 : AuthorName_Fig1.tif (拡張子は例)

表 : AuthorName_Table1.xls(x)

補足資料 : AuthorName_suppl1.xls (拡張子は例)

カバーレター : AuthorName_cov.doc(x)

9. 受理された論文

受理された論文は、編集事務局が編集と組版を行って出版する。受理された論文に関する連絡は全て責任著者との間で行われる。

掲載は原則として受理順とする。

10. 問い合わせ先（メール限定）

JVMS 編集事務局：jvms@ipecc-pub.co.jp

11. 論文の複写

JVMS に掲載された著作物を複写したい場合は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けること。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接発行団体より受けること。

一般社団法人 学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル
TEL: 03-3475-5618 FAX: 03-3475-5619
E-mail: info@jaacc.jp

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡すること。

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA
Phone: 1-978-750-8400
Fax: 1-978-646-8600